

10/19(土) 第15回日本神経筋疾患摂食・嚥下・栄養研究会学術集会 岐阜大会 プログラム

会場	長良川国際会議場 4F 大会議室	
9:00		
10:00	9:30~ 参加受付 (4F ロビー)	
	10:30~10:40 開会の辞 大会長 下畑 享良	
11:00	10:40~11:10 教育セミナー1 「神経筋疾患の口腔機能—特徴と対応法—」 演者: 谷口 裕重 (朝日大学歯学部 口腔病態医療学講座 障害者歯科学分野) 座長: 和座 雅浩 (各務原リハビリテーション病院 神経内科)	
12:00	11:10~12:20 一般演題1 「評価・訓練・介入法」①~⑨ 座長: 市原 典子 (国立病院機構高松医療センター 神経内科) 巨島 文子 (諏訪赤十字病院 リハビリテーション科)	
	休憩	
13:00	12:30~13:30 ランチョンセミナー 「サルコペニアの摂食嚥下障害と栄養ケア」 演者: 前田 圭介 (愛知医科大学病院 緩和・支持医療学) 座長: 下畑 享良 (岐阜大学大学院医学系研究科 脳神経内科学分野) 共催: カレイド株式会社/株式会社フードケア	
	休憩	
14:00	13:40~14:00 総会	
15:00	14:00~15:00 特別講演 「嚥下障害のトピックス —最近の話題, 臨床倫理など—」 演者: 藤島 一郎 (浜松市リハビリテーション病院 院長) 座長: 下畑 享良 (岐阜大学大学院医学系研究科 脳神経内科学分野)	
	←休憩	
16:00	15:05~16:00 一般演題2 「耳鼻・口腔」⑩~⑯ 座長: 藤本 保志 (名古屋大学医学部附属病院 耳鼻いんこう科) 吉川 峰加 (広島大学大学院医系科学研究科 先端歯科補綴学)	
	←休憩	
16:00	16:05~16:35 教育セミナー2 「神経難病における栄養障害とその対策」 演者: 清水 俊夫 (東京都立神経病院 脳神経内科) 座長: 木村 暁夫 (岐阜大学大学院医学系研究科 脳神経内科学分野)	
	←休憩	
17:00	16:40~17:50 一般演題3 「倫理・栄養・多職種連携」⑰~⑳ 座長: 平野 牧人 (近畿大学医学部堺病院 神経内科) 清水 充子 (埼玉県総合リハビリテーションセンター 言語聴覚科)	
18:00	17:50~18:20 教育セミナー3 「服薬障害と薬剤性嚥下障害」 演者: 野崎 園子 (労働者健康福祉機構関西労災病院 神経内科) 座長: 金藤 大三 (国立病院機構鳥取医療センター 神経内科)	
	18:20~18:30 次期大会長挨拶: 吉川 峰加 (広島大学大学院医系科学研究科 先端歯科補綴学) 閉会の辞: 大会長 下畑 享良	

日 程 表

開会式	10:30~11:40
-----	-------------

開会の辞：下畑 享良（岐阜大学大学院医学系研究科 脳神経内科学分野）

教育セミナー 1	10:40~11:10
----------	-------------

座長：和座 雅浩（各務原リハビリテーション病院 摂食嚥下療法科）

神経筋疾患の口腔機能—特徴と対応法—

谷口 裕重（朝日大学歯学部 口腔病態医療学講座 障害者歯科学分野）

一般演題 1 「評価・訓練・介入法」	11:10~12:20
--------------------	-------------

座長：市原 典子（国立病院機構高松医療センター 神経内科）

巨島 文子（諏訪赤十字病院 リハビリテーション科）

- 1 外来通院期にある認知症を伴う筋萎縮性側索硬化症患者 2 例の球麻痺症状と呼吸障害の関係
松田 千春（公益財団法人東京都医学総合研究所）
- 2 多系統萎縮症における声帯運動障害、呼吸障害、嚥下障害の発症時期—臨床病型による比較—
土屋 かほる（亀田総合病院 耳鼻咽喉科）
- 3 パーキンソン病患者におけるLドパ持続経腸療法導入前後の嚥下機能の変化
道津 友里子（福岡大学病院 摂食嚥下センター）
- 4 球麻痺型筋萎縮性側索硬化症に関連するATXN8OS遺伝子の同定
平野 牧人（近畿大学医学部 脳神経内科）
- 5 CADASIL症例における嚥下機能評価
寒川 真（近畿大学医学部 脳神経内科）
- 6 眼咽頭筋ジストロフィーの長期経過—嚥下・音声への介入を通じた考察
藤本 保志（名古屋大学医学部附属病院）
- 7 指導によってバキューム嚥下を再現できた球麻痺の一例
國枝 顕二郎（浜松市リハビリテーション病院）
- 8 重度嚥下障害を呈した多発脳神経炎に対する頸部干渉波刺激装置の使用経験
和座 雅浩（各務原リハビリテーション病院）
- 9 パーキンソン病患者への干渉波電気感覚刺激療法を併用した摂食嚥下リハビリテーションの効果
小池 正樹（(医)ちゅうざん会 ちゅうざん病院）

ランチョンセミナー

12:30~13:30

座長：下畑 享良（岐阜大学大学院医学系研究科 脳神経内科学分野）

サルコペニアの摂食嚥下障害と栄養ケア

前田 圭介（愛知医科大学病院 緩和・支持医療学）

共催：カレイド株式会社／株式会社フードケア

特別講演

14:00~15:00

座長：下畑 享良（岐阜大学大学院医学系研究科 脳神経内科学分野）

嚥下障害のトピックス –最近の話題, 臨床倫理など–

藤島 一郎（浜松市リハビリテーション病院 院長）

一般演題2 「耳鼻・口腔」

15:05~16:00

座長：藤本 保志（名古屋大学医学部附属病院 耳鼻いんこう科）

吉川 峰加（広島大学大学院医系科学研究科 先端歯科補綴学）

10 終末期ALS症例に対する局麻下気管分離術は妥当だったのか

津田 豪太（聖隷佐倉市民病院）

11 喉頭気管分離術後に常食摂取と人工喉頭で発声が可能となった多系統萎縮症の1例

意思決定の過程とリハビリ

吉川 由規（国立病院機構東名古屋病院）

12 誤嚥防止術を施行したパーキンソン病4例の臨床的背景と効果についての検討

荻野 智雄（国立病院機構宇多野病院）

13 神経筋疾患患者における経口摂食への切り札

内田 真哉（京都第2赤十字病院 耳鼻咽喉科・気管食道外科）

14 栄養障害を併発した筋委縮性側索硬化症患者に対する歯科的介入

大島 亜希子（朝日大学医科歯科医療センター）

15 Wallenberg症候群発症後の重度嚥下障害に対し舌接触補助床（PAP）を作成した1症例

中澤 悠里（医療法人社団登豊会近石病院）

16 習慣性顎関節前方脱臼を来したステップパーソン症候群の嚥下障害への介入例

大塚 義顕（国立病院機構千葉東病院）

教育セミナー2

16:05~16:35

座長：木村 暁夫（岐阜大学大学院医学系研究科 脳神経内科学分野）

神経難病における栄養障害とその対策

清水 俊夫（東京都立神経病院 脳神経内科）

一般演題3「倫理・栄養・多職種連携」

16:40~17:50

座長：平野 牧人（近畿大学医学部堺病院 神経内科）

清水 充子（埼玉県総合リハビリテーションセンター 言語聴覚科）

17 肺炎で入院したパーキンソニズム患者の摂食嚥下障害に対する言語聴覚士と神経内科医の連携

田積 匡平（岡崎市民病院 リハビリテーション室）

18 多系統萎縮症患者の経口摂取へ向けて ～「食べたい」を叶える～

野中 小百合（特定医療法人茜会 昭和病院）

19 胃瘻の造設を頑なに拒否した筋萎縮性側索硬化症患者の男性例の検討

東田 和博（岐阜大学大学院医学系研究科 脳神経内科学分野）

20 多職種チーム医療に起こる臨床倫理的問題

浅川 孝司（吉野内科・神経内科医院 国際医療福祉大学市川病院）

21 パーキンソン病関連疾患において経管栄養選択が生命予後に与える影響

富田 聡（国立病院機構宇多野病院 臨床研究部 脳神経内科）

22 進行性核上性麻痺患者の機能予後に与える体重変化の影響

高橋 哲哉（国立病院機構 西新潟中央病院）

23 筋萎縮性側索硬化症患者への新たな予測式を用いた必要摂取エネルギー量算出とその介入効果
についての検討

青山 有紀（東京都立神経病院 NST）

24 筋萎縮性側索硬化症における体重減少と呼吸器装着後の機能予後との関連

清水 俊夫（東京都立神経病院 脳神経内科）

25 嚥下訓練食の活用状況と今後の展望について 第一報

田中 美穂（尼崎だいもつ病院）

教育セミナー3

17:50~18:20

座長：金藤 大三（国立病院機構鳥取医療センター 神経内科）

服薬障害と薬剤性嚥下障害

野崎 園子（労働者健康福祉機構関西労災病院 神経内科）

閉会式

18:20~18:30

次期大会長挨拶：吉川 峰加（広島大学大学院医系科学研究科 先端歯科補綴学）

閉会 の 辞：下畑 享良（岐阜大学大学院医学系研究科 脳神経内科学分野）